

NEWS RELEASE

報道関係各位

2026 年 9 月 4 日

**【新ライセンス提供開始】「AlliedWare Plus」新バージョンで、
ネットワークの可視性と運用の柔軟性を向上
～ 通信状況の把握や無線 LAN 環境の最適化、大規模ネットワークに対応 ～**

アライドテレシス株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 サチエ オオシマ）は、2026 年 9 月 4 日より、当社ネットワーク機器の OS「AlliedWare Plus」向けファームウェア「Ver.5.5.6-1.1」のダウンロード提供を当社ウェブサイトにて開始しました。あわせて、機能拡張に対応する新規ライセンスの販売も開始しています。

AlliedWare Plus 最新 Ver. 5.5.6-1.1

ユーザー単位で、通信状況をより詳しく把握

**トラブル解析や
日常的な監視を支援**



今回のファームウェアバージョンアップで実施した主な機能強化は下記の通りです。

■ スイッチの機能強化

<AT-SBx908 GEN3 の ACL エントリ数を最大 5120 まで拡張>

アドバンスド・レイヤー3 モジュラー・スイッチ「AT-SBx908 GEN3」において、通信の許可・拒否などを制御する ACL のエントリ数を最大 5120 まで拡張しました。

ACL エントリ数の拡張により、利用者や端末、サービスなどに応じて、より多くの通信ルールを設定できるようになります。ネットワークの大規模化やセキュリティ要件の高度化に伴って増加する通信制御にも柔軟に対応し、きめ細かなアクセス制御を実現します。

これにより、大規模なネットワーク環境においても、通信ポリシーに応じた柔軟なアクセス制御を支援します。

<AT-x980-32CQ で多様なルーティングやネットワーク管理に対応>

アドバンスド・レイヤー3・スイッチ「AT-x980-32CQ」において、BGP などのルーティング機能や、ネットワークを論理的に分離する VRF-Lite、ネットワーク機器の集中管理を支援する AMF コントローラーなど、ネットワークの構築・運用に必要なさまざまな機能に対応しました。

また、通信状況の可視化やネットワーク機器の設定・管理、時刻同期、利用者認証など、ネットワークの運用効率化や安定稼働を支援する機能も利用可能となりました。

これにより、ネットワークの規模や用途、運用要件に応じて必要な機能を柔軟に選択でき、さまざまなネットワーク環境に適した構成を実現します。

今回の機能強化にあわせて提供を開始する新規ライセンスは下記の通りです。

製品名	価格 (税込)	概要
AT-x980-FL01	¥220,000	OSPFv2、RIPng、OSPFv3、BGP4+、VRF-Lite(63 インスタンスまで)、ローカル RADIUS サーバー拡張などの機能をサポート。
AT-x980-FL13	¥66,000	最大 600 インスタンスが利用可能になる VRF-Lite フルに対応。
AT-x980-APC60-1Y-2026	¥2,640,000	x980 シリーズ用 AMF PLUS コントローラーライセンス (60 マスター) (1 年間)
AT-x560-MS-PY-2026	¥66,000	x560 シリーズ用の MACsec の機能が利用可能になるライセンス

※このほかにもご利用可能期間として 5 年間(5Y)や 7 年間(7Y)、更新用のライセンスなどもご用意しています。

■ 無線の機能強化

<通信状況を端末・ユーザー単位で可視化し、トラブル解析やセキュリティ監視を支援>

無線 LAN アクセスポイント「AT-TQR シリーズ」において、通信の種類や状況を分析する DPI の統計情報を、通信している端末やユーザー単位で確認できるよう機能を強化しました。

新たに追加された GUI 画面では、端末・ユーザーごとの通信履歴を確認でき、過去にどの端末からどのような通信が発生していたかを振り返ることが可能です。また、指定した期間の通信傾向をグラフで確認できるため、通信トラブルが発生した際の原因調査や、日常的なセキュリティ監視にも活用できます。

これにより、これまで把握しづらかった端末・ユーザー単位の通信状況を可視化し、ネットワークの運用・管理を支援します。

<AT-TQ7413-R で通信を止めずに周辺の無線環境をスキャン>

無線 LAN アクセスポイント「AT-TQ7413-R」において、周辺の無線環境を調査する RF Scan／Sync Scan 機能を強化しました。

専用の受信用無線を利用して周辺のアクセスポイントなどをスキャンできるため、通常の無線通信を継続しながら、周辺の電波状況や無線環境に関する情報を収集できます。

従来はスキャン時に通信中の無線を一時停止する必要がありましたが、今回の機能強化により、接続中の端末への通信影響を抑えながら無線環境を把握できるようになります。これにより、通信品質を維持しながら無線環境の最適化を行うことが可能となります。

●バージョンアップ概要

今回のバージョンアップで追加・拡張したその他の機能やサポート範囲などの詳細については、こちらのリリースノートをご覧ください。 <https://www.allied-tesis.co.jp/support/>

バージョン名：AlliedWare Plus Ver.5.5.6-1.1、Web GUI/Vista Manager mini Ver.2.24.0

注) 記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレシスホールディングス株式会社、アライドテレシス株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です。

<<製品に関するお問い合わせ>>

E-Mail: info@allied-tesis.co.jp

<https://www.allied-tesis.co.jp>

アライドテレシス株式会社

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>

マーケティングコミュニケーション部

Tel: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-tesis.co.jp

東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2 TOC ビル